

平成 27 年度

専攻科入学者募集要項

付／志願者用書類



独立行政法人 国立高等専門学校機構
木更津工業高等専門学校

問い合わせ先 学生課教務係

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1

TEL 0438-30-4040 FAX 0438-98-5403

E-mail nyushi@a.kisarazu.ac.jp URL <http://www.kisarazu.ac.jp/>

専攻科のアドミッション・ポリシー

木更津工業高等専門学校専攻科では、次のような資質や意欲を持った人を求めています。

1. 専門とする技術分野の基礎学力と工学的素養を備えている人
2. これまで修得した専門分野以外の幅広い工学分野への興味（好奇心）を持っている人
3. 将来、より高度な技術課題に取り組むことのできる基礎能力を身に付けた人
4. 技術者として社会的責任を自覚し、他者と共同して社会に貢献する意欲を持った人

平成 27 年度専攻科入学者募集要項

1. 募集人員

機械・電子システム工学専攻	8名
制御・情報システム工学専攻	8名
環境建設工学専攻	4名

2. 入学者の選抜方法

区 分	選 抜 方 法 ・ 日 程		
	推 薦 選 抜	学 力 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜
募集受付期間	平成26年 5月 7日(水) ~ 8日(木)	平成26年 6月 4日(水)~ 5日(木)	平成26年11月 4日(火)~ 5日(水)
選 抜 期 日	平成26年 5月17日(土)	平成26年 6月21日(土)	平成26年11月15日(土)
合 格 発 表	平成26年 5月21日(水)	平成26年 6月25日(水)	平成26年11月19日(水)
確約書提出日	平成26年 5月28日(水)	平成26年 7月 2日(水)	平成26年12月 3日(水)

3. 「生産システム工学」教育プログラム

本専攻の授業は、JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けた「生産システム工学」教育プログラム(p.16 参照)に基づいて行われます。

本校出身者以外で入学する者は、「生産システム工学」教育プログラムへの編入学となりますので、プログラム修了要件を満たすことが可能かを確認させていただきます。必ず出願期間の2週間前までに本校教務係にお問い合わせください。

詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

「生産システム工学」教育プログラムへの編入学

<http://www.kisarazu.ac.jp/hyouka/jabee/index.html#admit>

4. 個人情報について

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

5. その他

募集要項に関して不明な点は下記まで照会してください。

木更津工業高等専門学校 学生課教務係
〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2-11-1
TEL 0438-30-4040
FAX 0438-98-5403
Email nyushi@a.kisarazu.ac.jp

推 薦 選 抜

1. 出願資格

平成 27 年 3 月に高等専門学校を卒業見込みの者で、出身学校長が成績及び人物ともに優れていると認め推薦する者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期間 平成 26 年 5 月 7 日(水)～ 5 月 8 日(木)

(郵送の場合は、5 月 8 日午後 4 時必着とする。)

時間 午前 9 時から午後 5 時まで

場所 木更津工業高等専門学校 学生課教務係

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1

- ① 郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書すること。
- ② 郵送の場合は 82 円切手を貼付した返信用封筒を同封すること。

(2) 出願に必要な書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入すること。
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真は、正面脱帽上半身・無背景(縦6cm×横4.5cm)で、出願以前3か月以内に撮影したものを貼付すること。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。
成績・単位修得 証 明 書	出身学校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。 修得単位数が明記されているもの(成績の評定基準は調査書に明示すること)。
推 薦 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成したもの。
検 定 料	綴り込みの振込依頼書に氏名及び住所を記入して事前に払い込み、その振込受付証明書を検定料振込受付証明書貼付用紙に貼付すること。 検定料：16,500円
英 語 の 資 格 に 関 する も の	1. TOEIC [®] の場合は、「公式認定証(Official Score Certificate)」を提出すること。 なお、TOEIC [®] IP の場合、2005年3月31日以前は「Score Sheet」、2005年4月1日以降は「Score Report」になるが、いずれの場合も原本を提出すること。 2. 実用英検で準2級以上合格の場合は、最上位の級の和文または英文の「合格証明書」(注:「合格証書(賞状)」ではない)を提出すること。 3. 実用英検で一次試験のみの合格の場合は、「二次受験票」(一次試験の結果が明示されている)を提出すること。なお、これを紛失等した場合には、日本英語検定協会に「一次試験合格証明書」の発行(発行手数料1,000円程度)を依頼すること。 ※上記のいずれの場合も、コピーではなく、原本を提出すること。
そ の 他	現に、日本国内に在住する外国人は、市区町村長が発行する「住民票の写し(国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの)」又は「在留カードの写し」を提出すること。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、面接（専門科目に関する口頭試問を含む）、出身学校長から提出された調査書及び英語の資格を総合して行う。

選抜日時

日 時	試験科目	時 間	場 所
平成26年 5月17日(土)	面 接	10:00～	木更津工業高等専門学校

4. 合格発表

平成 26 年 5 月 21 日(水) 12:00（正午）
本校に掲示するとともに、合格者には文書で通知する。
（電話等による可否の問い合わせには一切応じない。）

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、平成 26 年 5 月 28 日(水)までに「入学確約書」を提出すること。
入学確約書を提出しなかった者は、本校への入学の意思がないものとして取り扱う。

6. 入学手続

入学手続きの詳細については合格者に別に通知する。
所定の日時内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

7. 推薦による選抜で合格とならなかった者の取り扱い

推薦による選抜の結果、合格とならなかった者で学力による選抜の受験を希望する者は、改めて次ページの学力選抜の出願手続きを行うこと。ただし、調査書、英語の資格に関するもの、「住民票の写し（国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの）」又は「在留カードの写し」は再提出しなくてもよい。

学 力 選 抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は平成 27 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は平成 27 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者又は平成 27 年 3 月までに同要件を満たす見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者又は平成 27 年 3 月までに同要件を満たす見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者又は平成 27 年 3 月までに同要件を満たす見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成 27 年 3 月までに同要件を満たす見込みの者
- (7) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期間 前期 平成 26 年 6 月 4 日(水)～ 6 月 5 日(木)

(郵送の場合は、6 月 5 日午後 4 時必着とする。)

時間 午前 9 時から午後 5 時まで

場所 木更津工業高等専門学校 学生課教務係

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1

- ① 郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書すること。
- ② 郵送の場合は 82 円切手を貼付した返信用封筒を同封すること。

(2) 出願に必要な書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入すること。
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真は、正面脱帽上半身・無背景（縦6cm×横4.5cm）で、出願以前3か月以内に撮影したものを貼付すること。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。
成績・単位修得 証 明 書	出身学校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。修得単位数が明記されているもの。（成績の評定基準は調査書に明示すること）
出 願 承 諾 書	本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。（企業等に在職したまま入学を希望する者のみ）
検 定 料	綴り込みの振込依頼書に氏名及び住所を記入して事前に払い込み、その振込受付証明書を検定料振込受付証明書貼付用紙に貼付すること。 検定料：16,500円

出願書類等	摘 要
英語の資格に関するもの	1. TOEIC®の場合、「公式認定証(Official Score Certificate)」を提出すること。 なお、TOEIC® IP の場合、2005年3月31日以前は「Score Sheet」、2005年4月1日以降は「Score Report」になるが、いずれの場合も原本を提出すること。 2. 実用英検で準2級以上合格の場合は、最上位の級の和文または英文の「合格証明書」(注:「合格証書(賞状)」ではない)を提出すること。 3. 実用英検で一次試験のみの合格の場合は、「二次受験票」(一次試験の結果が明示されている)を提出すること。なお、これを紛失等した場合には、日本英語検定協会に「一次試験合格証明書」の発行(発行手数料1,000円程度)を依頼すること。 ※上記のいずれの場合も、コピーではなく、原本を提出すること。
その他	現に、日本国内に在住する外国人は、市区町村長が発行する「住民票の写し(国籍, 在留資格, 在留期間が記載されたもの)」又は「在留カードの写し」を提出すること。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験の成績、調査書、英語の資格及び面接の結果を総合して行う。

(1) 選抜日時

日 時	試験科目	時 間	場 所
平成26年 6月21日(土)	数 学(100点)	9:30~10:30	木更津工業高等専門学校
	専門科目(100点)	10:40~12:10	
	面 接	13:10~	

(2) 出題分野 (専門科目は1専攻を選択する)

試験科目		出題分野
数 学		微分積分, 線形代数
専 門 科 目	機械・電子システム工学専攻	材料力学, 熱・流体力学, 電気磁気学, 電気回路 から 2科目選択
	制御・情報システム工学専攻	制御工学, 電気基礎(電磁気・電気回路), 計算機ハードウェア, 計算機ソフトウェアから2科目選択
	環境建設工学専攻	構造力学, 水理学, 土質力学

注) 英語の資格に関する換算方法は下記のとおりとする。

【換算方法】

- (1) TOEIC®及びTOEIC® IP の場合は、200点までは0点とし、200点を超える得点について0.4を乗じ、小数点以下を切り捨てた上で、100点を上限とする換算を行う(300点で40点, 350点で60点, 400点で80点, 450点以上で100点となる)。
- (2) 実用英検の場合は、準2級一次試験合格は60点, 準2級合格は80点, 2級一次試

験合格は 90 点，2 級以上合格は 100 点として換算する。

【注意事項】

- (1) TOEIC® 及び TOEIC® IP の場合，「公式認定証等の再発行期間」は「試験日から 2 年以内」であるので，注意すること。
- (2) 実用英検の場合，「一次試験合格証明書」の発行期間は「試験日から 2 年以内」であるので注意すること。

4. 合格発表

平成 26 年 6 月 25 日(水) 12:00 (正午)

本校に掲示するとともに，合格者には文書で通知する。

(電話等による合否の問い合わせには一切応じない。)

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は，平成 26 年 7 月 2 日(水)までに「入学確約書」を提出すること。

入学確約書を提出しなかった者は，本校への入学の意思がないものとして取り扱う。

6. 入学手続

入学手続きの詳細については合格者に別に通知する。

所定の日時内に入学手続きを完了しない場合は，入学辞退者として取り扱う。

社会人特別選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ出願時において社会人としての経験が1年以上ある者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期間 平成26年11月4日(火)～11月5日(水)

(郵送の場合は、11月5日午後4時必着とする。)

時間 午前9時から午後5時まで

場所 木更津工業高等専門学校 学生課教務係

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東2-11-1

- ① 郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書すること。
- ② 郵送の場合は82円切手を貼付した返信用封筒を同封すること。

(2) 出願に必要な書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入すること。
受 験 票 写 真 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真は、正面脱帽上半身・無背景（縦6cm×横4.5cm）で、出願以前3か月以内に撮影したものを貼付すること。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。
成績・単位修得 証 明 書	出身学校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封したもの。修得単位数が明記されているもの。（成績の評定基準は調査書に明示すること）
推 薦 書 又 は 業 績 調 査 書	本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。社会人としての勤務業績等を600字以内にまとめたものとする。（本人作成：様式任意）
出 願 承 諾 書	本校所定の用紙により、所属長が作成したものとする。（企業等に在職したまま入学希望する者のみ）
検 定 料	綴り込みの振込依頼書に氏名及び住所を記入して事前に払い込み、その振込受付証明書を検定料振込受付証明書貼付用紙に貼付すること。 検定料：16,500円

出 願 書 類 等	摘 要
英語の資格に関するもの	1. TOEIC [®] の場合は、「公式認定証(Official Score Certificate)」を提出すること。 なお、TOEIC [®] IP の場合、2005年3月31日以前は「Score Sheet」、2005年4月1日以降は「Score Report」になるが、いずれの場合も原本を提出すること。 2. 実用英検で準2級以上合格の場合は、最上位の級の和文または英文の「合格証明書」(注:「合格証書(賞状)」ではない)を提出すること。 3. 実用英検で一次試験のみの合格の場合は、「二次受験票」(一次試験の結果が明示されている)を提出すること。なお、これを紛失等した場合には、日本英語検定協会に「一次試験合格証明書」の発行(発行手数料1,000円程度)を依頼すること。 ※上記のいずれの場合も、コピーではなく、原本を提出すること。
その他	現に、日本国内に在住する外国人は、市区町村長が発行する「住民票の写し(国籍, 在留資格, 在留期間が記載されたもの)」又は「在留カードの写し」を提出すること。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けない。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがある。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、調査書、推薦書または業績調書、英語の資格、小論文及び面接の結果を総合して行う。

選抜日時

日 時	試験科目	時 間	場 所
平成26年11月15日(土)	小論文 面接	10:00~11:30 11:40~	木更津工業高等専門学校

4. 合格発表

平成 26 年 11 月 19 日(水) 12:00 (正午)
 本校に掲示するとともに、受験者には合否を通知する。
 (電話等による合否の問い合わせには一切応じない。)

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、平成 26 年 12 月 3 日(水)までに「入学確約書」を提出すること。
 入学確約書を提出しなかった者は、本校への入学の意思がないものとして取り扱う。

6. 入学手続

入学手続きの詳細については合格者に別に通知する。
 所定の日時内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

専攻科入学案内

専攻科の設置

平成13年4月

専攻科の目的

本校専攻科は、5年間の高等専門学校における教育の基盤の上に立ち、より深く高度な専門知識及び技術を教授し、もって広く地域社会並びに産業界で活躍できる実践的かつ創造的な技術者の育成を目的とします。

専攻及び入学定員

機械・電子システム工学専攻	8名
制御・情報システム工学専攻	8名
環境建設工学専攻	4名

修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件 62単位以上修得

専攻科の教育目標及び各専攻の教育方針

本校専攻科は、高専準学士課程の5か年一貫教育という特徴を活かしながら、さらに2年間の教育により、幅広い知識と高度な専門技術を伝授することにより、研究・技術開発能力を備えた先端技術に対応できる実践的専門技術者の養成を目的とします。

教育目標は、①高度情報化社会に柔軟に対応できる技術者の育成、②ものづくりを基本とする研究開発型技術者の育成、③グローバル化に対応できる技術者の育成です。

機械・電子システム工学専攻

機械工学と電気電子工学のそれぞれの分野に高い技術力と、双方の専門分野を融合した柔軟性のある研究・技術開発能力を兼ね備えた先端技術に対応できる実践的専門技術者の育成を目指す。

制御・情報システム工学専攻

情報処理技術を基礎として、意思決定技術、ソフトウェア技術、通信技術、制御技術やメカトロニクス技術に係わる教育を行い、創造的、実践的な制御システムに対応できる実践的専門技術者の育成を目指す。

環境建設工学専攻

社会的に深刻化している環境や都市などの高度で広域化した問題に柔軟に対応できる思考力と創造力を併せ持つ技術者の育成と、これらの問題に対応する研究開発ができる実践的専門技術者の育成を目指す。

専攻科の教育課程及び修了に必要な単位

教育課程は、一般科目、専門共通科目、専門専攻科目で構成されており、授業科目、学年別配当単位数は p.13～p.15 を参照してください。

専攻科を修了するためには次の区分による単位を修得しなければなりません。

専攻	科目	一般科目	専門科目		合計
			専門共通科目	専門専攻科目	
機械・電子システム工学専攻		8 単位	22 単位以上	32 単位以上	62 単位以上
制御・情報システム工学専攻		8 単位	22 単位以上	32 単位以上	62 単位以上
環境工学専攻		8 単位	22 単位以上	32 単位以上	62 単位以上

なお、本校の準学士課程第4学年・第5学年と専攻科の2年間をあわせた教育課程は4年間一貫の「生産システム工学」教育プログラムでもあります。(p.16 参照)

学士の学位取得

本校の専攻科を修了し、一定の条件を満たした者については、大学評価・学位授与機構の行う審査を受けて、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に、学士(工学)の学位を取得できます。

入学時に必要な経費(予定)

費用	金額	備考
入学料	84,600 円	入学手続き時に納入
授業料(現行)	117,300 円	前期分(年額 234,600 円)
その他経費	15,000 円	後援会入会金(本校準学士からの連続入学者は免除)
	18,000 円	後援会費

入学料・授業料の免除

入学料の免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡する、風水害等の災害を受けた場合など、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められた場合には、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。

授業料の免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者、または風水害等の災害を受け、納付が困難と認められる者には、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

入学料・授業料の徴収猶予

徴収猶予については、上記免除対象者の条件を満たす外、下記の特別な事情を有する場合には申請者の成績及び家計の状態により徴収猶予の対象とすることがあります。

詳しくは、学生課学生係にお問い合わせください。(TEL 0438-30-4039)

- (1) 長期療養者がいる世帯
- (2) 身体障害者がいる世帯
- (3) 母子家庭
- (4) 生活保護世帯

奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

その他

その他詳細については、下記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1
木更津工業高等専門学校 学生課教務係
TEL 0438-30-4040
FAX 0438-98-5403
メール nyushi@a.kisarazu.ac.jp

専攻科課程

機械・電子システム工学専攻

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考			
			1年					
			前	後				
一般科目	必修	英語総合	2	2				
		人間と文化	2	2				
		現代文明	2		2			
		技術倫理	2		2			
	選択	ドイツ語演習Ⅰ	1	1				
		ドイツ語演習Ⅱ	1	1				
一般科目開設単位小計		10	6	4	一般科目修得単位 8 以上			
専門	必修	技術英語Ⅰ	2	2				
		技術英語Ⅱ	2		2			
		材料力学通論	2	2				
		コンピュータ科学	2	2				
		地震防災工学通論	2		2			
	共通科目	必修	応用数学特論	2	2		3科目中、2科目以上選択	
			応用物理特論	2	2			
		選択	環境工学通論	2	2		2科目中、1科目以上選択	
			環境化学特論	2		2		
			回路工学	2	2		2科目中、1科目以上選択	
		選択	創造設計工学	2		2		
			材料学通論	2	2		2科目中、1科目以上選択	
			磁性材料工学	2		2		
	選択	技術論	1		1			
	選択	インターンシップ	2	2				
専門共通科目開設単位数		32	21	11	専門共通科目修得単位 22 以上			
科目	必修	特別研究Ⅰ	6	6				
		特別研究Ⅱ	8		8			
		特別実験	2	2				
		特別演習Ⅰ	2	2				
		特別演習Ⅱ	2		2			
	専攻科目	開講年度			H27	H26	隔年開講(1,2年生同時受講)	
			生産工学	2	2			
		選択	トライボロジー	2	2			
			システム制御工学	2		2		平成 26 年度は“H26”欄の科目が開講
			可視化情報工学	2		2		
			オプトメカトロニクス工学	2			2	
			高周波回路工学	2	2			平成 27 年度は“H27”欄の科目が開講
			電磁波工学	2	2			
			エネルギー工学	2	2			
	半導体物性	2		2				
電気機械エネルギー変換工	2			2				
専門専攻科目開設単位数		40	20	20	専門専攻科目修得単位 32 以上			
専門科目開設単位小計		72	41	31	専門科目修得単位 54 以上			
一般・専門科目開設単位合計		82	47	35	一般・専門科目修得単位 62 以上			

制御・情報システム工学専攻

区 分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				備 考
				1 年		2 年		
				前	後	前	後	
一 般 科 目	必 修 選 択	英 語 総 合	2	2				
		人 間 と 文 化	2	2				
		現 代 文 明	2			2		
		技 術 倫 理	2				2	
		ド イ ツ 語 演 習 I	1	1				
		ド イ ツ 語 演 習 II	1		1			
一 般 科 目 開 設 単 位 小 計			10	6		4		一 般 科 目 修 得 単 位 8 以 上
専 門 共 通 科 目	必 修	技 術 英 語 I	2		2			
		技 術 英 語 II	2			2		
		材 料 力 学 通 論	2	2				
		コ ン ピ ュ ー タ 科 学	2		2			
		地 震 防 災 工 学 通 論	2				2	
	選 択	問 題 解 決 技 法	1	1				
		応 用 数 学 特 論	2		2			3 科 目 中、2 科 目 以 上 選 択
		応 用 物 理 特 論	2	2				
		応 用 化 学 特 論	2	2				
		環 境 工 学 通 論	2		2			2 科 目 中、1 科 目 以 上 選 択
		環 境 化 学 特 論	2			2		
		回 路 工 学	2	2				2 科 目 中、1 科 目 以 上 選 択
		創 造 設 計 工 学	2			2		
	選 択	材 料 学 通 論	2		2			2 科 目 中、1 科 目 以 上 選 択
		磁 性 材 料 工 学	2			2		
技 術 論		1			1			
イ ン タ ー ネット		2	2					
専 門 共 通 科 目 開 設 単 位 数			32	21		11		専 門 共 通 科 目 修 得 単 位 22 以 上
専 門 専 攻 科 目	必 修	特 別 研 究 I	6	6				
		特 別 研 究 II	8			8		
		特 別 実 験	2	2				
		特 別 演 習 I	2	2				
		特 別 演 習 II	2			2		
	選 択	半 導 体 デ バ イ ス	2	2				
		学 習 制 御	2		2			
		シ ス テ ム 制 御	2			2		
		通 信 工 学	2			2		
		集 積 回 路 工 学	2				2	
		数 値 解 析 基 礎 論	2	2				
		ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2		2			
		ヒ ュ ー マ ン イ ン タ ー フ ェ ー ス	2		2			
	選 択	情 報 通 信 工 学	2			2		
		数 理 モ デ リ ン グ	2				2	
専 門 専 攻 科 目 開 設 単 位 数			40	20		20		専 門 専 攻 科 目 修 得 単 位 32 以 上
専 門 科 目 開 設 単 位 小 計			72	41		31		専 門 科 目 修 得 単 位 54 以 上
一 般 ・ 専 門 科 目 開 設 単 位 合 計			82	45		35		一 般 ・ 専 門 科 目 修 得 単 位 62 以 上

環境建設工学専攻

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				備 考		
			1 年		2 年				
			前	後	前	後			
一 般 科 目	必 修 選 択	英 語 総 合	2	2					
		人 間 と 文 化	2	2					
		現 代 文 明	2			2			
		技 術 倫 理	2			2			
		ド イ ツ 語 演 習 I	1	1					
		ド イ ツ 語 演 習 II	1		1				
一 般 科 目 開 設 単 位 小 計		10	6	4	一 般 科 目 修 得 単 位 8 以 上				
専 門 科 目	必 修	技 術 英 語 I	2		2				
		技 術 英 語 II	2			2			
		材 料 力 学 通 論	2	2					
		コ ン プ ュ ー タ 科 学	2		2				
		地 震 防 災 工 学 通 論	2			2			
	共 通 選 択	必 修	応 用 数 学 特 論	2	2			3 科 目 中、2 科 目 以 上 選 択	
			応 用 物 理 特 論	2	2				
		選 択	応 用 化 学 特 論	2	2			2 科 目 中、1 科 目 以 上 選 択	
			環 境 工 学 通 論	2	2				
			環 境 化 学 特 論	2		2			
			回 路 工 学	2	2			2 科 目 中、1 科 目 以 上 選 択	
			創 造 設 計 工 学	2			2		
			材 料 学 通 論	2	2			2 科 目 中、1 科 目 以 上 選 択	
		選 択	専 門 共 通 科 目	磁 性 材 料 工 学	2		2		
				技 術 論	1		1		
	イ ン タ ー ネット			2	2				
	専 門 共 通 科 目 開 設 単 位 数			32	21	11	専 門 共 通 科 目 修 得 単 位 22 以 上		
	専 門 攻 科 目			必 修	特 別 研 究 I	6	6		
		特 別 研 究 II	8				8		
		特 別 実 験	2		2				
特 別 演 習 I		2	2						
特 別 演 習 II		2				2			
選 択		専 門 攻 科 目	環 境 生 物 工 学	2	2				
			構 造 数 値 解 析 学	2	2				
			応 用 構 造 工 学	2	2				
			環 境 情 報 ・ 保 全 工 学	2	2				
			環 境 工 学 特 論	2			2		
	応 用 材 料 工 学		2			2			
専 門 専 攻 科 目 開 設 単 位 数		34	18	16	専 門 専 攻 科 目 修 得 単 位 32 以 上				
専 門 科 目 開 設 単 位 小 計		66	39	27	専 門 科 目 修 得 単 位 54 以 上				
一 般 ・ 専 門 科 目 開 設 単 位 合 計		76	43	31	一 般 ・ 専 門 科 目 修 得 単 位 62 以 上				

「生産システム工学」教育プログラム

本教育プログラムは、準学士課程4年次から専攻科2年次までの4年間一貫の教育プログラムであり、最も得意とする専門分野の知識と能力を身につけて、さらに異なる技術分野を理解し、両分野の知識を複合させる能力を身につけ、そして国際化に対応できる技術者教育を目的としています。

この教育プログラムは、平成18年5月8日に日本技術者教育認定機構(JABEE)より認定されました。JABEE認定された教育プログラムの修了生は、技術士第1次試験が免除され技術士補となる資格が得られます。その後、技術士を補助した期間が4年以上になると、技術士第2次試験を受けることができます。

※ 詳しくは <http://www.kisarazu.ac.jp/hyouka/jabee/> を参照してください。

「生産システム工学」教育プログラムの養成すべき技術者像

自主自立の精神と国際的視野を持ち、以下の知識及び能力と実践力を備え、他者と共同して社会に貢献できる開発研究型の技術者

- (1) 複合領域の知識を結び付ける研究・開発能力
- (2) 国際化や高度情報化に柔軟に対応できる基礎能力
- (3) 技術者としての社会的責任と倫理の自覚

4つの学習・教育目標

(A) 人間形成

健康な身体と精神を培い、社会に貢献する優れた人間として、幅広い教養をもとに、技術者としての責任を自覚し、その使命を実行しうる技術者

- (A-1) 豊かな人間性と健康や身体を培う。
- (A-2) 技術が自然や社会に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する。

(B) 科学技術の修得と応用

自らの専門とする科学技術についてその基礎となる理論および原理を十分に理解し、境界領域にもすすんで活躍しうる技術者

- (B-1) 数学および自然科学の基礎知識とそれらを用いた論理的思考能力を身につける。
- (B-2) 最も得意とする専門分野の知識と能力を身につける。
- (B-3) 異なる技術分野を理解し、得意とする専門分野の知識と複合する能力を身につける。
- (B-4) 実験・実習を通して実践的技術を身につける。

(C) コミュニケーション能力

国際化および高度情報化社会に柔軟に対応し、自らの考えを状況に応じて的確に表現しうる技術者

- (C-1) 日本語の記述能力を身につける。
- (C-2) 情報技術を使いこなし、日本語による発表・討論ができる能力を身につける。
- (C-3) 国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける。

(D) 創造力（デザイン能力）

自ら工夫して新しいものを造り出す研究開発型の技術者

卒業研究や専攻科特別研究などを通して、次の能力を身につける。

- (D-1) 問題解決のために修得した専門知識を応用できること。
- (D-2) 創意工夫し問題解決のための計画の立案・実行、得られた結果の考察および整理ができること。